

## 研究協力者

葛西 圭子 NTT 東日本関東病院 副看護部長  
小林 康江 山梨大学大学院  
医学工学総合研究部 助教授  
斉藤 益子 東邦大学医学部看護学科 教授  
比江島 欣慎 東京医療保健大学 助教授  
山崎 圭子 横浜市衛生局保健部保健政策課  
係長

## A. 研究目的

病院に勤務する中堅助産師の職場異動に関する意識と実態について明らかにしていくことである。今後、助産師のキャリア開発の視点から分娩件数の減少した病院からは、診療所や他病院への異動を視野に入れた就業相談（キャリアカウンセリング）も考えられる。本研究は、助産師のライフステージに応じたキャリア開発と、働き方に応じた就業支援の基礎資料となることである。

## B. 研究方法

### 1 調査期間

平成 18 年 2 月 10 日～3 月 6 日

### 2 調査対象者

助産業務経験年数 5 年以上と想定される 27 歳～60 歳助産師 2000 名、回収 800 名（40.0%）  
日本看護協会会員である助産師が 25 名以上いる全国 139 施設を対象  
荷 25 名以上の施設に 10 部、33 名以上いる施設には 20 部の質問紙を、看護管理者宛に郵送にて依頼をした。研究の依頼を行い、同意を得られた施設では助産師に配布され、回収は個別に郵送回収した。

回収 800 名(40.0%)

## 3 調査票の作成

調査項目の作成については、研究協力者による抽出を繰り返すとともに、日本看護協会「潜在助産師・退職助産師の就業意向調査」との比較をするために同調査と意識的に同一項目を加え作成した。

## 4 分析

回収ならびに結果の入力、集計は(株)アクロスに委託実施した。平成 17 年度は単純集計までとして、平成 18 年度は結果を基に、今後更なる分析を実施予定。

## 5 倫理面への配慮

本調査は、日本看護協会会員に実施するにあたっては、専任役員会において研究計画を示し、研究の意義ならびに調査対象者の個人情報保護の観点から検討され、施設データの協力の許可を得た。

会員個人は、施設の許可を得た後、管理者によって配布されたが、助産師個人の研究参加への自由の保障、個人データについてはすべて記号化し、施設についても分担研究代表者のみの管理とした。今後、結果の発表についても個人、施設の特定はできないことを遵守する。

## C. 研究結果・考察

### 1 調査対象者の属性

今回の調査対象者の平均年齢は 37.1 歳（標準偏差 7.9 歳）であり、

47%が30代、44%が子どもを有していた。子どもの人数は2人が51%であり、1～3人を合算すると96%であり、子どもの面倒を見てくれる人があるとした人は6割を占めていた。保育所がないとした人は1割未満であり、少ない。

独身者も多いと推測されるが、自分の収入で生活している人は4割、自分が働かなくても経済的にはやっていけるが余裕はないとした人は5割いた。

## 2 保有資格と過去の就業経験

助産師資格は全員が持っている。過去の総分娩介助件数も平均351件(標準偏差380件)であり、「100件以上」が75%に達しており、分娩に関するキャリアは豊富といえる。助産師と働くようになってから、看護師として働いた経験も3割いた。

また、職場を変ったことのあるひとは4割に留まり助産師として同じ職場で働き続けられる環境にある人が多いことが推測される。転職経験のある人をみると、就職理由は初回就職時には「教育・研究体制がしっかりしていること」をあげる人が多いが、1～5回目は就職時では「交通の便がよい」とする人が最も多くなり、子どもを持ち、働き続ける上で重要な要素であることが示される。また、退職理由に関しても、1回目は「他職場への興味」とする人が多いが、

2回目以降は「出産・育児」「夫の転勤」「転居」といったライフステージの変化を理由とする人が多い点も家庭を持ちながら働いている背景を感じさせる。

## 3 現在の就業状況

現在の就業は、ほぼ全員が正職員として働き、7割は一般(スタッフ)助産師として勤務している。配属先は、42%が病棟(産科単科)であり、34%が産婦人科病棟であった。現在の職場での勤務年数は、「5年以上」とする人が7割を超え、同じ職場で働き続ける傾向が示唆されている。

## 4 助産師業務の満足度

助産師業務の満足度は「助産師と医師との間で十分なチームワークがとれているか」にまあまあと思う49%、かなり思う9%、非常に思う2%と合算すると6割が医師との関係に満足している。

「助産師の専門職としての判断や意見が尊重されている」はまあまあ尊重されている53%、かなり思う15%、非常に思う2%と、7割が満足している。

「助産師業務にやりがいを感じている」は、まあまあ思う49%、かなり思う26%、非常に思う9%と8割を超える人が満足している。

業務の満足度は比較的高かった。単純集計レベルであるため、さらに経験年数、職位、配属先などの検討

が必要と考えられる。

#### 5 産科診療所への就業意向

産科診療所での就業は、「選択肢として含めたい」を含むと 65%が意欲を持っている。勤務形態も「常勤」「週に 5 日程度か、週 3～4 日程度」「7～8 時間」の勤務を希望する人が多く、夜勤も厭わない。したがって、希望給与も「30～35 万円」とする人が多い。

産科診療所に就業する条件としては、「複数の助産師がいる」「医師(経営者)が助産師の考え方に賛同してくれる」「両者が助産師の活動に理解・支援してくれる」「柔軟な勤務体制の中で働くことができる」「助産師としての業務に集中できる」といった点をあげる人が多い。

#### 6 産科診療所のイメージ

産科診療所のイメージとしては、「外来から入退院まで一連のケアが継続して行える」「妊産婦の生活に応じたケアができる」といったポジティブなイメージと共に、「責任が重い」「休暇が取りにくい」「医師(経営者)との人間関係が難しい」「助産師業務以外の仕事が多い」と

いったネガティブなイメージを抱く人が多い。

#### E. 結論

病院における中堅助産師の職場定着率はかなり高い。その背景には、子どもの面倒をしてくれる人が身近にいるという生活環境とともに、職場における助産師としての満足度との関連が大きいことが推測される。

産科診療所への就業意向は、ライフステージに応じた職場異動の選択肢に成り得ることが推測されるが、助産師の職務満足度を満たすには、産科診療所のイメージが余りよくないことが懸念される。

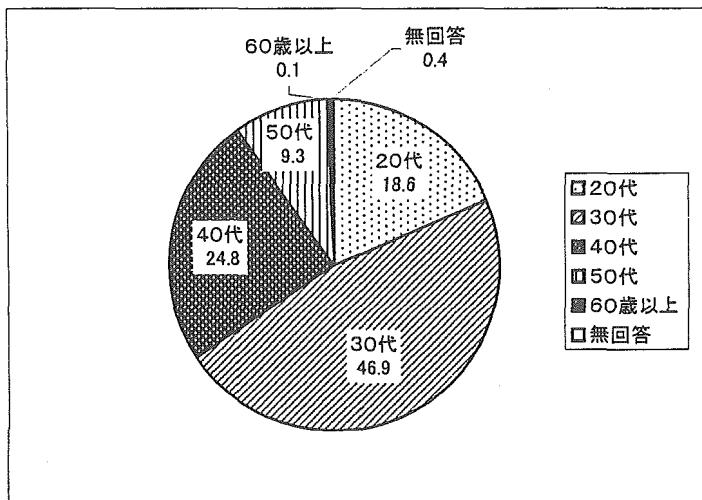
平成 17 年度は、単純集計レベルの作業のみ実施されており、平成 18 年度には引き続き、職場異動要因の分析とともに、日本看護協会で開催された「潜在助産師・退職助産師の就業意向調査」との比較により、助産師の働き方についての分析を進めたいと考える。

## ■ 調査対象者特性

問1 居住地（対象者の特定を避けるために、非公開）

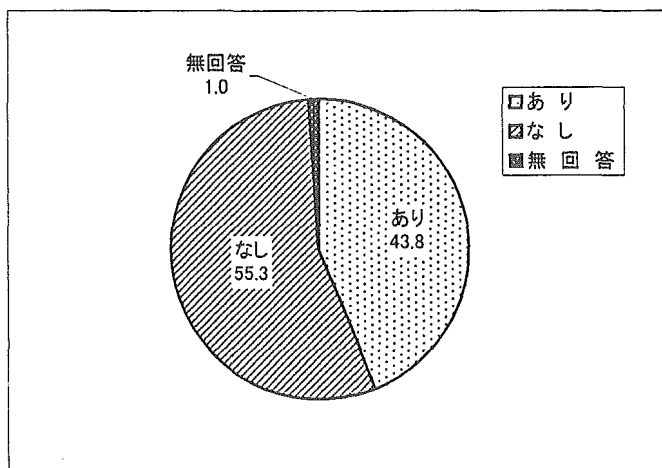
問2 年齢

	件数	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答
合計	800	18.6	46.9	24.8	9.3	0.1	0.4



問5. 子どもの有無

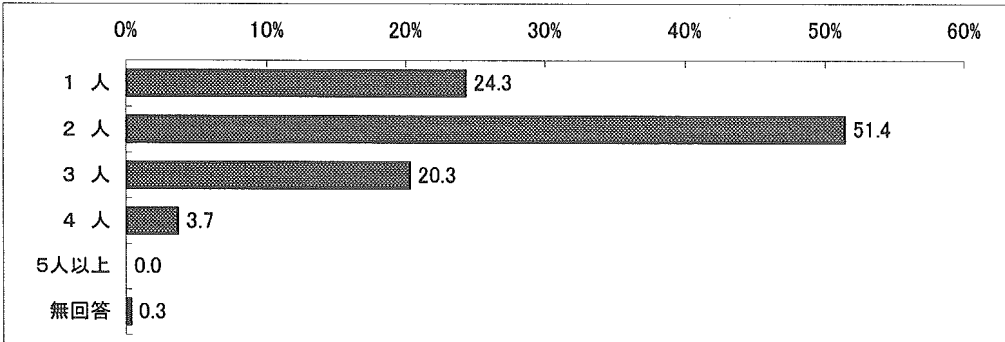
	件数	あり	なし	無回答
合計	800	43.8	55.3	1.0



問5. 子どもの人数

問5. 子どもの有無…あり

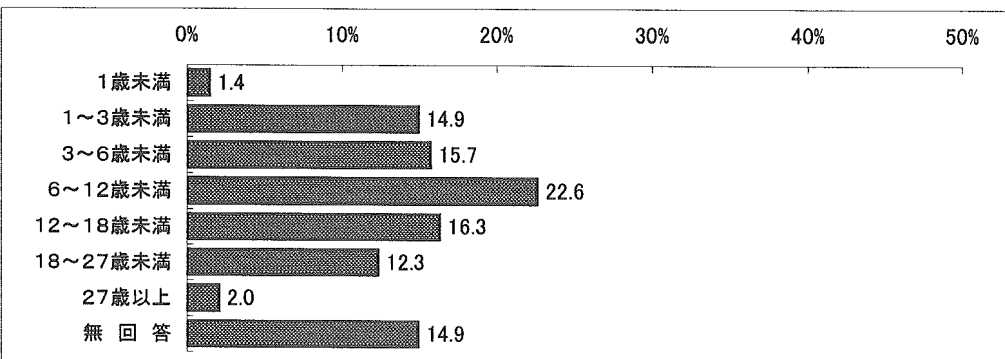
	件数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
合計	350	24.3	51.4	20.3	3.7	0.0	0.3



問5. 末子の子どもの年齢

問5. 子どもの有無…あり

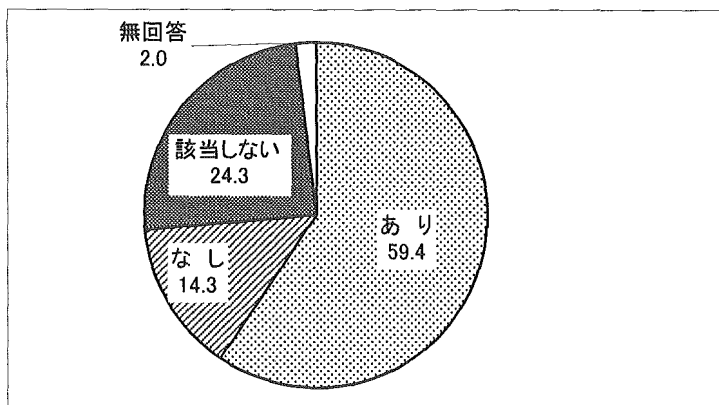
	件数	1歳未満	1～3歳未満	3～6歳未満	6～12歳未満	12～18歳未満	18～27歳未満	27歳以上	無回答
合計	350	1.4	14.9	15.7	22.6	16.3	12.3	2.0	14.9



問5(1). 子供の世話をしてくれる家族・保育者等の有無

問5. 子どもの有無…あり

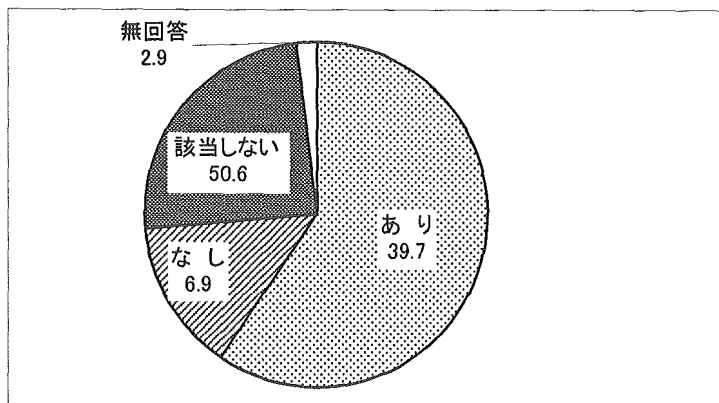
	件数	あり	なし	該当しない(子どもは利用する年齢ではない)	無回答
合計	350	59.4	14.3	24.3	2.0



問5(2). 保育所等の利用の有無

問5. 子どもの有無…あり

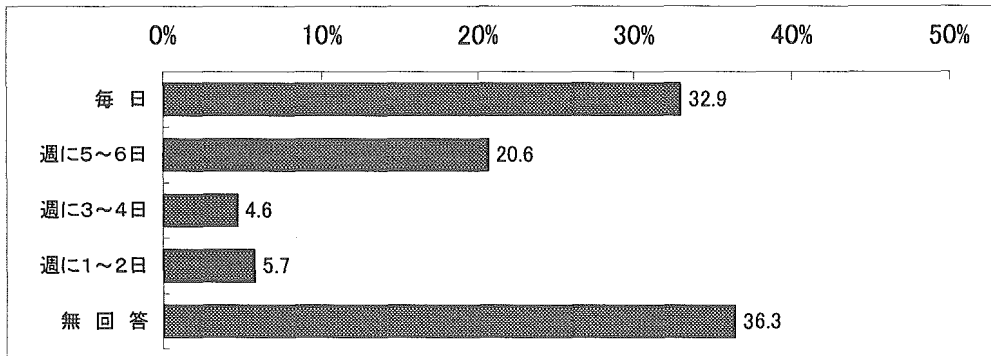
	件数	あり	なし	該当しない(子どもは利用する年齢ではない)	無回答
合計	350	39.7	6.9	50.6	2.9



問5(3). 子どもの世話をしてもらえる頻度(日数)

問5. 子どもの有無…あり

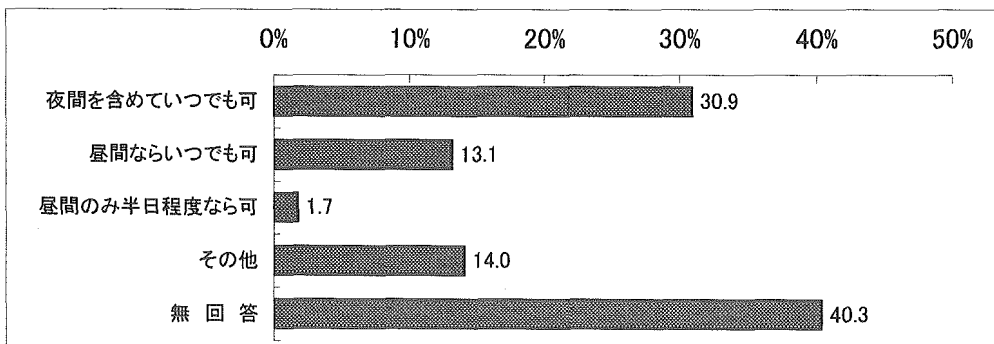
	件数	毎日	週に5～6日	週に3～4日	週に1～2日	無回答
合計	350	32.9	20.6	4.6	5.7	36.3



問5-3. 子どもの世話をしてもらえる頻度(時間帯)

問5. 子どもの有無…あり

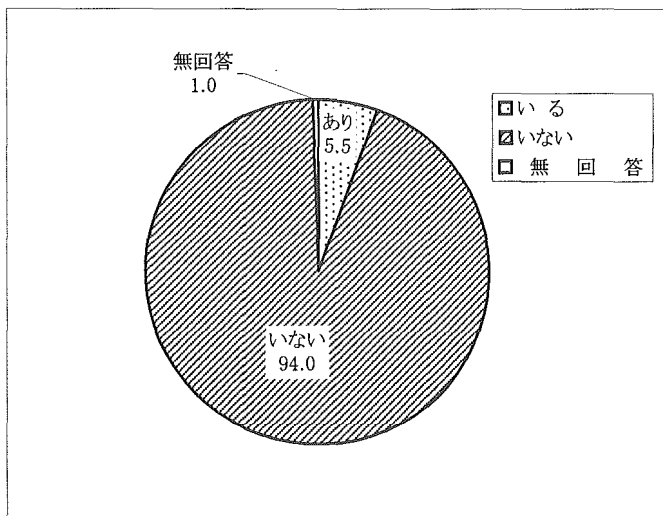
	件数	夜間を含めていつでも可	昼間ならいつでも可	昼間のみ半日程度なら可	その他	無回答
合計	350	30.9	13.1	1.7	14.0	40.3



問6. あなたが介護をしている家族等はいますか

	件数	いる	いない	無回答
合計	800	5.5	94.0	0.5

「あなたが介護をしている家族等はいますか」の質問に対しては、「いる」が5.5%、「いない」が94.0%と回答している。



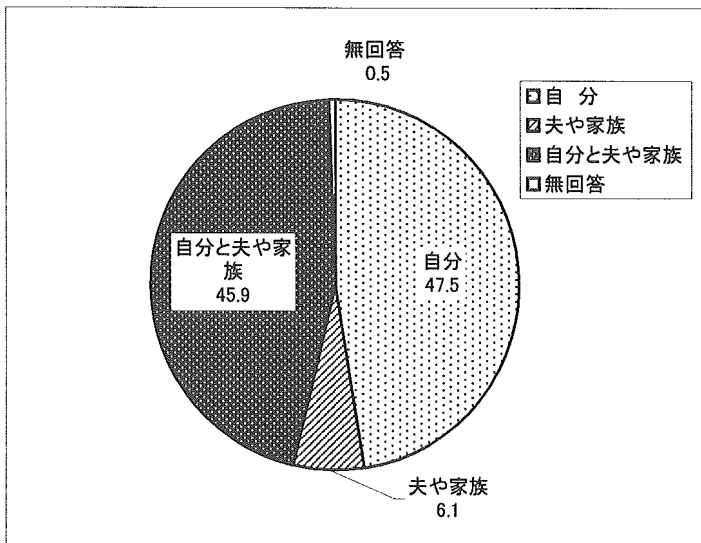


I 対象者の生活環境について

1) 現在の生活

問3. 現在の生活における収入源は誰ですか

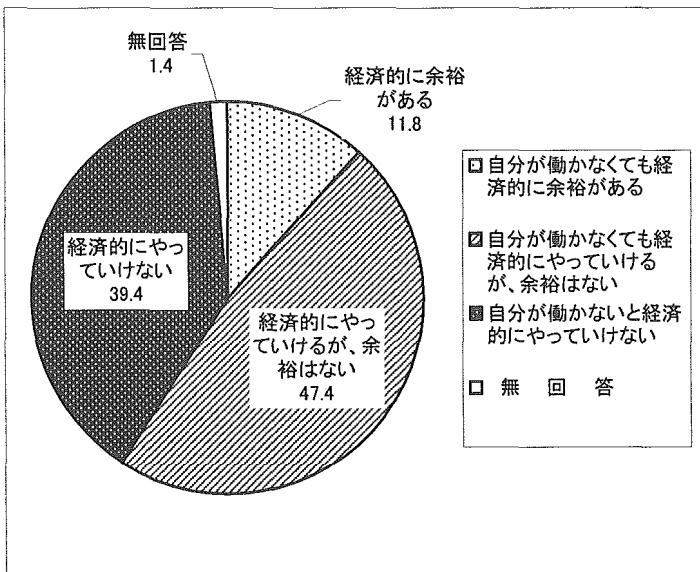
	件数	自分	夫や家族	自分と夫や家族	無回答
合計	800	47.5	6.1	45.9	0.5



問4. 現在の生活状況について

問3. 現在の生活における収入源は誰ですか…夫や家族、自分と夫や家族

	件数	的に自分が働かなくても経済的に余裕がある	裕に自分が働かなくても経済的に余裕はない	に自分が働かなくても経済的にやっつけていけない	無回答
合計	416	11.8	47.4	39.4	1.4

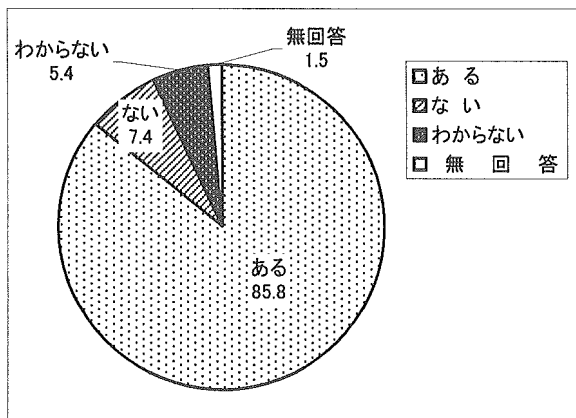


## 2) 居住エリアでの産科診療所の有無

問12. あなたの居住地の近く(車で30分以内)に分娩を取り扱っている産科診療所はありますか

	件数	あ る	な い	わ か ら な い	無 回 答
合 計	800	85.8	7.4	5.4	1.5

「あなたの居住地の近くに分娩を取り扱っている産科診療所はありますか」の質問に対し、「ある」が85.8%、「ない」が7.4%、「わからない」が5.4%と回答している。



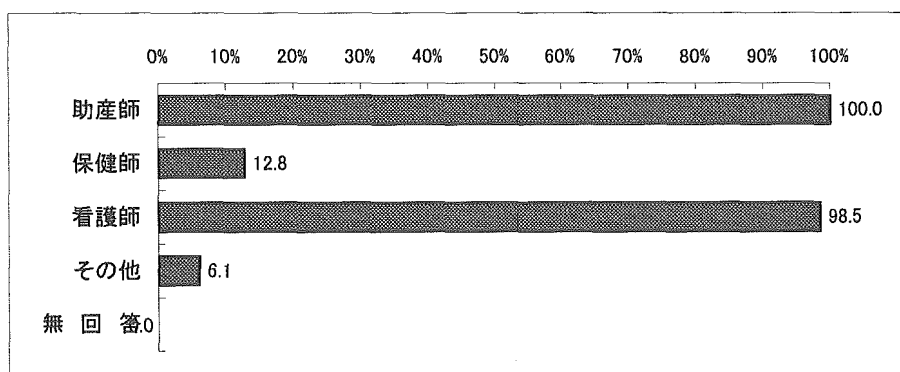
## II 保有資格について

### 1) 保有資格

問7. あなたがお持ちの資格

	件数	助産師	保健師	看護師	その他	無回答
合計	800	100.0	12.8	98.5	6.1	0.0

「あなたがお持ちの資格は」の質問に対しては、100.0%が「助産師」と回答している。次いで「看護師」(98.5%)と回答している人が多い。

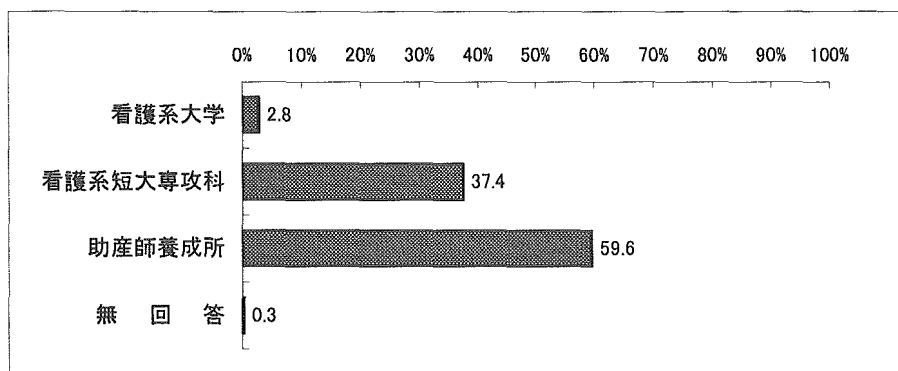


### 2) 保有資格取得教育

問8. 助産師免許を取得するための基礎教育はどこで受けましたか

	件数	看護系大学	看護系短大専攻科	助産師養成所	無回答
合計	800	2.8	37.4	59.6	0.3

「助産師免許を取得するための基礎教育はどこで受けましたか」の質問に対して、59.6%が「助産師養成所」と回答している。次いで「看護系短大専攻科」(37.4%)と回答する人が多い。

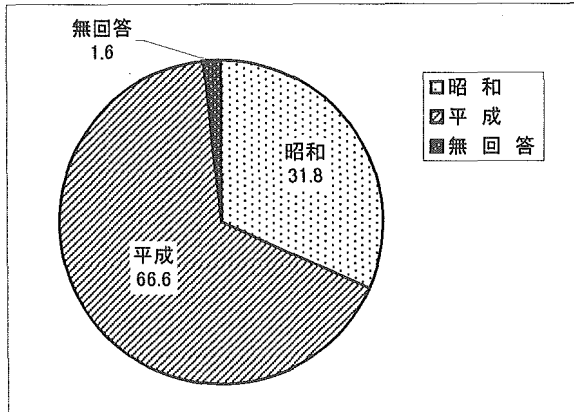


### 3) 免許取得年

問9. 助産師免許取得年はいつですか

	件数	昭和	平成	無回答
合計	800	31.8	66.6	1.6

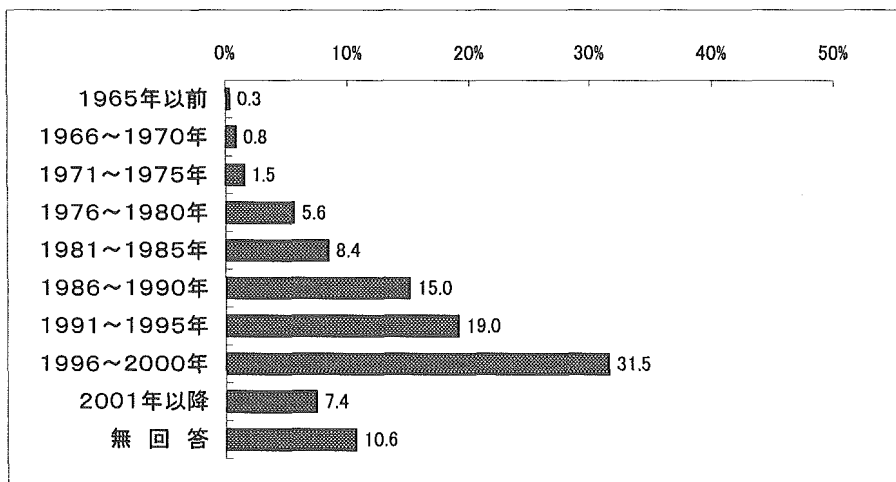
「助産師免許取得年はいつですか」の質問に対しては、「平成」が66.6%、「昭和」が31.8%と回答している。



問9. 助産師免許取得年はいつですか

	件数	1965年以前	1966～1970年	1971～1975年	1976～1980年	1981～1985年	1986～1990年	1991～1995年	1996～2000年	2001年以降	無回答
合計	800	0.3	0.8	1.5	5.6	8.4	15.0	19.0	31.5	7.4	10.6

「助産師免許取得年はいつですか」の具体的な年次に関しては、31.5%が「1996～2000年」と回答している。次いで、「1991～1995年」(19.0%)、「1986～1990年」(15.0%)と回答している人が多い。



問9. 助産師免許取得年はいつですか

「助産師免許取得年はいつですか」の質問に対し、8.0%で「1999年」と回答している。  
次いで、「2000年」7.8%、「2001年」6.0%、「1997年」5.6%、「1993年」5.4%と回答している人が多い。

	合計
件数	800
1931年	0.1
1955年	0.1
1968年	0.1
1969年	0.3
1970年	0.4
1972年	0.9
1974年	0.3
1975年	0.4
1976年	1.1
1977年	1.1
1978年	0.8
1979年	2.1
1980年	0.5
1981年	1.6
1982年	1.5
1983年	2.0
1984年	1.4
1985年	1.9
1986年	2.0

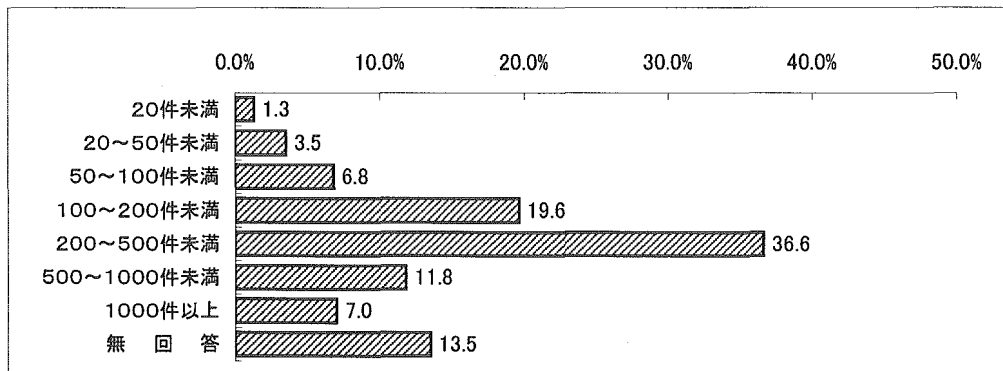
	合計
件数	800
1987年	2.8
1988年	2.6
1989年	3.4
1990年	4.3
1991年	2.9
1992年	2.6
1993年	5.4
1994年	3.6
1995年	4.5
1996年	5.0
1981年	1.6
1997年	5.6
1998年	5.1
1999年	8.0
2000年	7.8
2001年	6.0
2002年	1.0
2003年	0.4
無回答	10.6

#### 4) 総分娩介助件数

問10. 助産師になってから現在までの総分娩介助件数

	件数	20件未満	20～50件未満	50～100件未満	100～200件未満	200～500件未満	500～1000件未満	1000件以上	無回答
合計	800	1.3	3.5	6.8	19.6	36.6	11.8	7.0	13.5

「助産師になってから現在までの総分娩介助件数」の質問に対しては、36.6%が「200～500件未満」と回答している。次いで、「100～200件未満」(19.8%)、「500～1000件未満」(11.8%)と回答している人が多い。



問10. 助産師になってから現在までの総分娩介助件数

「助産師免許取得年」毎の「助産師になってから現在までの総分娩介助件数」の質問に対し、100.0%が「1931年」取得で「20～50件未満」、「1955年」で「200～500件未満」、「1968年」で「500～1000件未満」と回答している。

次いで、66.7%が「1970年」で「無回答」、「2003年」で「20～50件未満」、62.5%が「2002年」で「100～200件未満」、62.1%が「1994年」で「200～500件未満」と回答している人が多い。

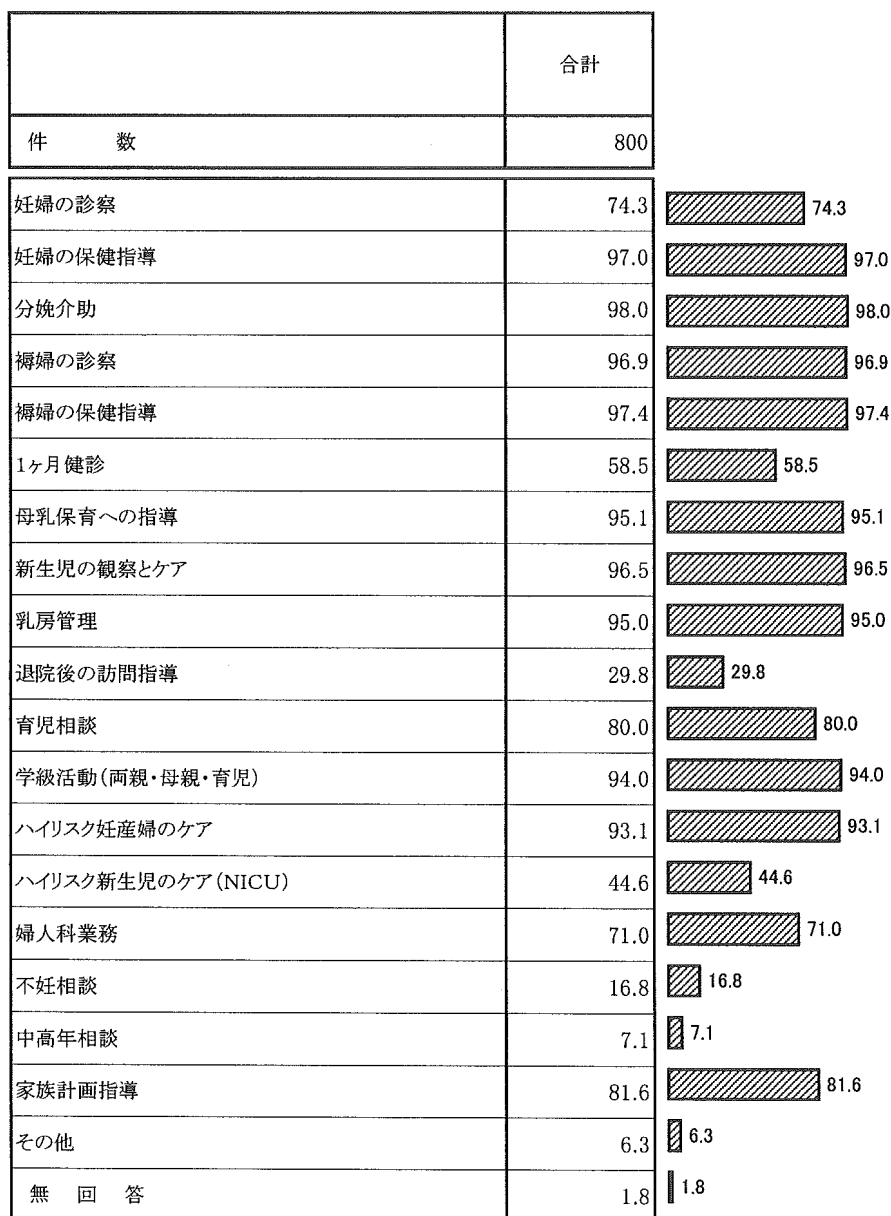
	件数	20件未満	20～50件未満	50～100件未満	100～200件	200～500件	500～1000件	1000件以上	無回答
合計	800	1.3	3.5	6.8	19.6	36.6	11.8	7.0	13.5
1931年	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1955年	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
1968年	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
1969年	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
1970年	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
1972年	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	42.9
1974年	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
1975年	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
1976年	9	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2
1977年	9	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	33.3	11.1
1978年	6	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
1979年	17	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4	29.4	11.8	29.4
1980年	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
1981年	13	0.0	0.0	0.0	7.7	46.2	15.4	23.1	7.7
1982年	12	0.0	0.0	8.3	25.0	16.7	16.7	33.3	0.0
1983年	16	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	18.8	37.5	12.5
1984年	11	0.0	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	18.2
1985年	15	0.0	0.0	0.0	6.7	33.3	26.7	13.3	20.0
1986年	16	0.0	0.0	0.0	6.3	37.5	25.0	6.3	25.0
1987年	22	0.0	0.0	4.5	22.7	36.4	13.6	9.1	13.6
1988年	21	0.0	0.0	0.0	0.0	38.1	9.5	19.0	33.3
1989年	27	0.0	3.7	7.4	22.2	25.9	14.8	7.4	18.5
1990年	34	0.0	2.9	2.9	14.7	52.9	14.7	0.0	11.8
1991年	23	0.0	0.0	0.0	17.4	30.4	26.1	4.3	21.7
1992年	21	0.0	0.0	4.8	14.3	42.9	19.0	4.8	14.3
1993年	43	4.7	0.0	4.7	20.9	48.8	11.6	0.0	9.3
1994年	29	0.0	0.0	3.4	6.9	62.1	17.2	3.4	6.9
1995年	36	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	11.1	0.0	5.6
1996年	40	2.5	2.5	5.0	17.5	45.0	17.5	0.0	10.0
1997年	45	2.2	2.2	11.1	20.0	48.9	8.9	0.0	6.7
1998年	41	2.4	4.9	14.6	24.4	43.9	2.4	0.0	7.3
1999年	64	0.0	3.1	14.1	40.6	37.5	0.0	0.0	4.7
2000年	62	4.8	11.3	8.1	41.9	27.4	1.6	0.0	4.8
2001年	48	0.0	12.5	16.7	35.4	35.4	0.0	0.0	0.0
2002年	8	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0
2003年	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



## 5) 過去の経験業務

問11. あなたがこれまでに助産師として経験した業務

「あなたがこれまでに助産師として経験した業務」の質問に対し、98.0%が「分娩介助」と回答している。次いで、「褥婦の保健指導」(97.4%)、「妊婦の保健指導」(97.0%)、「褥婦の診察」(96.9%)、「新生児の観察とケア」(96.5%)、「母乳保育への指導」(95.1%)、「乳房管理」(95.0%)といった業務を挙げた人が95%と多い。



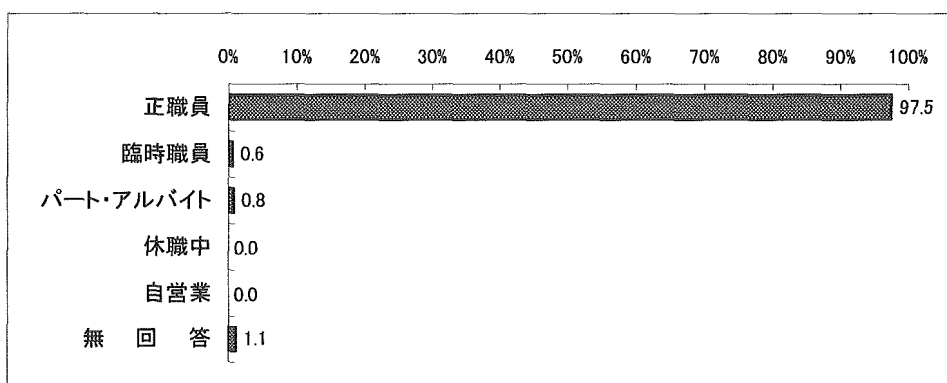
### Ⅲ 現就業状況について

#### 1) 勤務状況

問13. 現在の勤務状況

	件数	正職員	臨時職員	パート・アルバイト	休職中	自営業	無回答
合計	800	97.5	0.6	0.8	0.0	0.0	1.1

「現在の勤務状況」の質問に対し、97.5%が「正社員」と回答している。次いで「パート・アルバイト」(0.8%)、「臨時職員」(0.6%)と回答している。

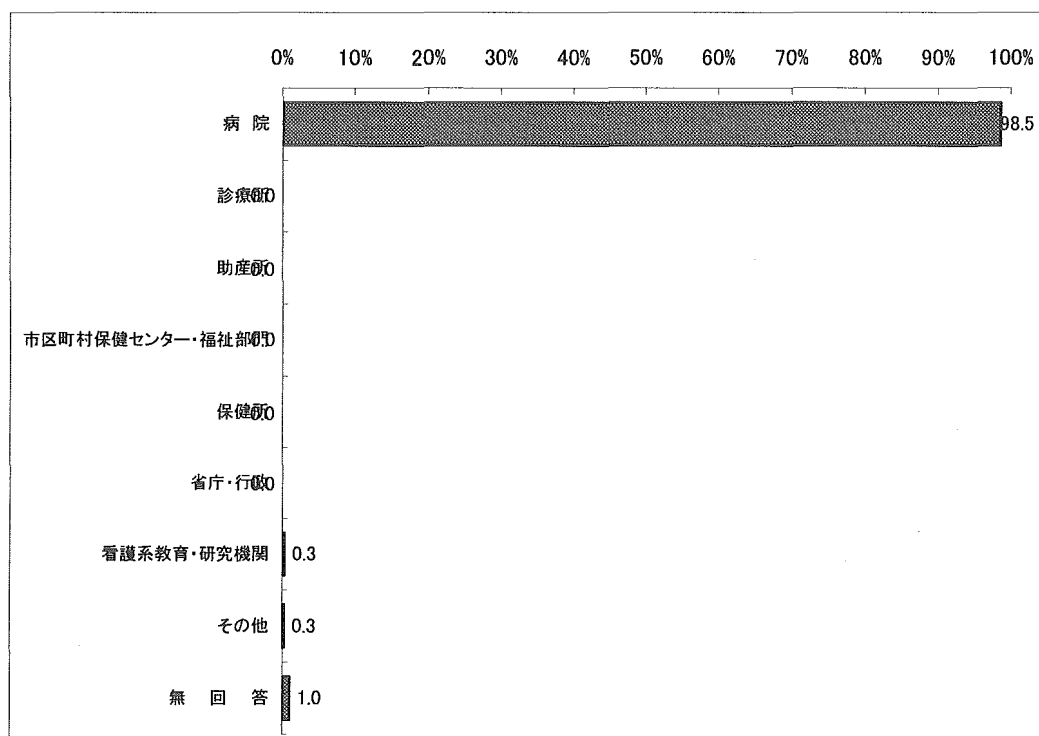


## 2) 勤務場所

問14. 現在の勤務場所

	件数	病院	診療所	助産所	市区町村保健センター・福祉部門	保健所	省庁・行政	看護系教育・研究機関	その他	無回答
合計	800	98.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	1.0

「現在の勤務場所」の質問に対し、98.5%とほぼ全員が「病院」と回答している。



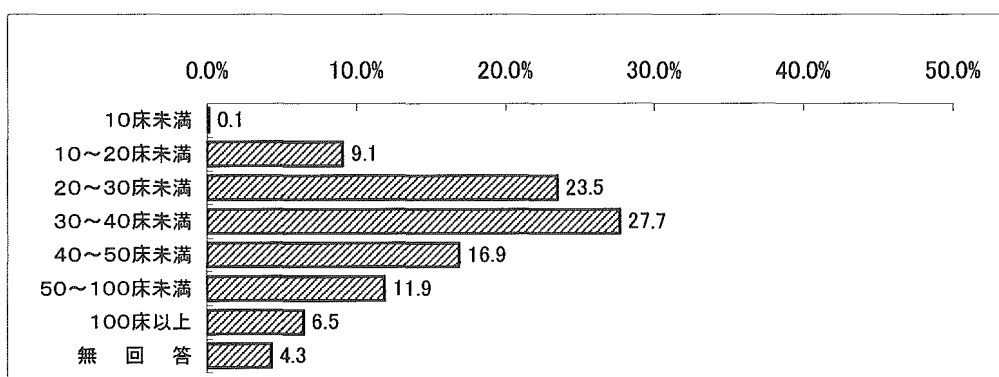
### 3) 勤務病院・診療所の病床数・助産師数・総分娩数

問15. 産科の病床数

問14. 現在の勤務場所…病院、診療所

	件数	10床未満	10～20床未満	20～30床未満	30～40床未満	40～50床未満	50～100床未満	100床以上	無回答
合計	788	0.1	9.1	23.5	27.7	16.9	11.9	6.5	4.3

「産科の病床数」の質問に対し、27.7%が「30～40床未満」と回答している。次いで「20～30床未満」(23.5%)、「40～50床未満」(16.9%)と回答している人が多い。



問15. 助産師の総数(病院内すべて)

問14. 現在の勤務場所…病院、診療所

	件数	10人未満	10～20人未満	20～30人未満	30～40人未満	40～50人未満	50～100人未満	100人以上	無回答
合計	788	0.3	2.5	24.7	33.6	16.9	10.7	1.1	10.2

「助産師の総数(病院内すべて)」の質問に対し、33.6%が「30～40人未満」と回答している。次いで「20～30人未満」(24.7%)、「40～50人未満」(16.9%)と回答している人が多い。

